

令和5年7月吉日

「新型コロナウイルス感染症の影響に対する政府の施策の活用状況
及び芸術家等のセーフティネットに関するアンケート」へのご協力をお願い

公益社団法人日本照明家協会
文化芸術推進フォーラム
独立行政法人日本芸術文化振興会
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

コロナ禍の困難な3年をくぐりぬけた今の芸術活動の取り組みは如何でしょうか。私どもは、この間、皆さまの活動を支えるべく、実態調査や政府への支援要望と活動を進めて参りました。コロナ禍でも文化芸術の灯を絶やさない、という皆様の強い思いに少しでも寄り添うことができたのであれば幸甚です。

この度、芸術家、実演家、スタッフ等の働き方に配慮したセーフティネットを実現するために、皆様が困っていることや、活動を続ける上で必要だと感じていることを把握するアンケートを実施することとなりました。

皆様の声が、文化芸術に携わる人々の未来に繋がります。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、下記の趣旨をお汲み取りいただき、本アンケートへの回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 調査方法

以下のURLよりご回答ください（全25問、7～8分程度）

<https://hst.netr.jp/artistsafetynet/>

2. アンケート実施期間

2023年7月31日（月）23:59まで



3. アンケート趣旨

芸術家等は個人で活動する人が多く、忙しい時期と忙しくない時期に差があり、収入が不安定だと言われます。さらにコロナ禍では、公演や撮影、展示、教える仕事などが中止・延期となり、収入が激減するなど多大な困難に直面したことが、2021年にご協力頂いたアンケート調査で明らかになりました。この調査結果は、社会に訴え、対策を講じるための資料として有益に活用することができました。

この調査結果からも、芸術家等が、安心して、継続的に芸術活動に専念するためには、その働き方の特徴に配慮したセーフティネットが必要だと考えています。

諸外国では、芸術家等が負担する保険料を軽減したり、労災保険や失業保険の対象にしたりするなどの工夫がされています。

日本でも、芸術家等の働き方に配慮したセーフティネットを実現するために、おもに以下の点について皆様の状況をお教えてください。

- 新型コロナウイルス感染症の影響に対する政府施策の活用状況について
- 基本的な社会保険への加入状況と自ら取り組んでいる対策について
- 「文化芸術活動に特有の収入変動等に備える芸術家のための互助の仕組み」について

※アンケートは、**無記名**でお答えいただきます。

※調査結果はすべて統計的に処理いたしますので、**回答から個人が特定されることは絶対にありません。**

※調査結果は、芸術家等のセーフティネット等を検討するために活用します。

【本アンケートに関するお問い合わせ】

文化芸術推進フォーラム事務局

(公益社団法人日本芸能実演家団体協議会(芸団協)内)

東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー11階

ウェブサイト：<https://ac-forum.jp/>

Eメール：info@ac-forum.jp